



2020年9月号 No.58

発行所

NPO法人 おいなんよ

長野県飯田市桜町 1-9-1

Tel 0265 (23) 1803

Fax 0265 (48) 5803

oinanyo-15@bz04.plala.or.jp

【URL】 <http://oinanyo.net/>

おいなんよのボランティアさん

新聞を読んでいれば
良いと言われたが
…。今ではよろずや
の平子さんです。



笑顔が素敵な
佐野さんです。



設立当時からお手
伝いしています。
矢澤さんです。

息子君が幼稚園へ。
子育てボランティア
から昇格した
高塚さんです。



学校がお休みに
ママと一緒に
「松島」へ来ました。
柳瀬さんと琥珀君。



おいなんよ「レジェンド」
碓井さんです。



いつも美味しい
お漬物を有難う。
久保田さんです



はなちゃんは保育
園へ。子育てボラ
から昇格した
林さんです。

別名「土・日の人」
服部さんです。



いつもお気遣いを感謝
しています。牧島さん
です。





マイクを持てば飯田の演歌歌手。田口さんです。



超ベテランのボランティアさん。
下平さんです。

いつまで経っても変わらない。
松澤さんです。



事務所（桜町）お隣の加山提灯屋さんです。→

今年もたくさんの注文家紋入り提灯が吊るされて
いました。飯田の街の貴重な提灯屋さんです。
こうして、盆提灯やお祭り提灯が観られて幸せです。
いつまでも、このような風景が続きますように。



新しい生活様式の中で「ボランティアの力」

NPO法人おいなんよは地域に根ざした活動を目的としています。職員が時間で介護するだけではなく、地域の皆さんとお食事をしたり、介護の相談を賜ったりしています。また、見守り・ご意見を戴きながら宅老所内で忙しく働く職員を補佐しているのがボランティアさんです。地域のことを良く知るボランティアさんの力を借りながら日常が成り立っています。職員と同じように朝の体温測定、マスクの着用、手洗いの徹底等をお願いしています。ボランティアさんの力と地域の皆さんと職員とご利用者さまとが『協奏・共走・共創』と育み進んで参ります。ボランティアの皆さんを改めて、通信で紹介させて戴きお礼の言葉とさせて戴きます。

理事長 佐藤 敏子



← おおせぎ別家の茄子『鼻家ファミリー』

「宅老所まつお」で採れた茄子です。「まつお」から頂いた茄子を別家で食す前に『鼻家ファミリー』を創りました。主人高男さん、一男君、夢子さん、末男君、奥様の笑子さんです。来年は男の子の「まつおくん」が生まれる予定です。この後の茄子は、勿論美味しく皆さんで頂きました。

中日新聞・南信州新聞に記載されました

編集後記

この6か月コロナという罫にはまった自粛生活で何を学んだでしょう。当たり前が当たり前でなく日本も世界も変わり、耐える、考える、発想の転換、ぶれない自分と強い意志。今まで好き勝手できる自由が無くなり、工夫する事で隣近所との連携、独創性、生きる力を蓄えられたらどうか、コロナが良い機会を与えてくれた。(い)

